

# 女性農業者ネットワーク 人材育成セミナー

～今さら聞けない農業経営（実践編）～

日時：平成28年12月16日（金）15:00～17:00

場所：かでの2.7北海道立道民活動センター1010会議室



北海道開発局旭川開発建設部  
地域振興対策室



# はじまって100年。そして200年へ。

## 講演「農業経営における従業員の雇用と人材育成について」

大塚 早苗（おおつか さなえ）  
（有）大塚ファーム取締役副社長／北海道指導農業者

札幌市の出身、会社員経験を経て結婚後は新篠津村で夫婦二人三脚で農業を営む。各種野菜、ハーブ生産・販売、農業体験学習の企画・圃場提供、有機野菜の生産に取り組んでいる。規格外品がもったいないという思いから生まれた「干しイモ」は日本初の有機JAS認定の道産干しいもとなり、以来、6次産業化を実践中で、自社工場での加工販売は冬場の従業員対策を含めて、経営を支えるもう一つの柱となっている。第43回日本農業賞個別経営の部大賞、平成26年農林水産祭の輝く女性特別賞などを受賞。（\*参照）



### 女性スタッフの活躍

スコープ仕事が多かった時代は、男性のみの採用でしたが、ミニトマト農家として注目されるようになってから、女性スタッフが活躍するようになりました。根気と手先の器用さが要求されるミニトマトの仕事は、女性にぴったりの仕事です。ミニトマトが忙しい6～10月までの間、パートで働く女性は全員フレックスタイムにしています。いろいろな都合に合わせた時間帯での雇用が、実現しています。

### 働き手をもとめて

従業員の募集は、一次産業に特化したインターネットの募集サイトも活用しています。日頃から、HPやブログ・フェイスブックで情報発信して、いつも元気で楽しそうに農作業している従業員の姿を見てもらい、興味を持ってもらうようにしています。

これからの時代、忙しい時だけ、たくさん人を集めようと思っても、できなくなるというのが、私の感想です。人を雇用するということは、人生の一部にお金を払って、来ていただいているということだと思います。

### 毎日の作業指示書で情報を共有

その日、だれが何をするのかを明確にして、社長が不在でも仕事が回るように、作業指示書を作成しています。他の人の仕事や、注意事項・農場全体の予定、購入予定のものや目標額、売り上げの状況、達成率まで明記しています。農業にどれだけお金がかかるかも知ってもらいたいと思ってやっています。これは、毎日作っているもので、1シーズンやることによってマニュアル化されます。なるべく、マニュアル化を意識しています。

### インターンシップの活用

インターンシップは、日本農業法人協会インターネットサイトで募集が可能です。1～2週間、私の家に泊まり込みで、どんな職場なのか、どんな仕事なのかを体験してもらっています。給料の代わりに、住むところと3度の食事を提供するのがインターンシップのしくみです。お互いに職場に対する誤解がないよう採用時のハードルは高くしています。結果、「来られない」方とは、縁がなかったと考えています。

### 外国人の受け入れ

日本人のパートさんや社員よりは、経費がやや高めになりますが、夢をもってやって来る一生懸命な姿が、ゆとり世代のスタッフに対して、良い刺激になっていると思います。

### 組織図を作成

来場者に各作物担当者がわかるように、また、スタッフに責任と自覚を持ってもらうため、農場に組織図を貼りだしています。社長や、両親、中国人スタッフを紹介しています。右下には、息子3人が5代目候補として載っています・・・

### 未来に向かって

後継者を育てるのであれば、具体的にその準備を始めなくては！大塚ファームのロゴマークは、息子3人をかたどったものです。就農200年に向け、後継者を育成しているというピーアールです。うちの商品を買うことは、クリーン農業を応援することになることを消費者に意識してもらいたい！顔が見える農業はもう当たり前で、取り組みの見える農業をめざしています。

\*経歴は、石狩振興局ホームページ（<http://www.ishikari.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/h27kouryuukaiannai.pdf>）を参考に作成。

\*背景は、（有）大塚ファームのセカンドロゴマーク。



# 座談会



卯城さん

年配のパートさんから若いパートさんに教える時、もめることはないですか？

パートさんの指導は、私と夫がやっています。休憩所も何力所かあるので、ほどよく距離を保ちながらやる、あまり密着させないことがポイントかな。



藤井さん

パートさんの得手不得手の解消法はありますか？

いろんなものを作っているのであれば、その人に得意な仕事を与えればいい。決して一人で仕事をさせないこと。何人かであれば、自分の状況がわかる。そういう環境にしておくことが大事。スピード感もお手本を示して、時間を決めて作業をやってもらうようにしては？



谷口さん

障害者の雇用に取り組んでいきたいと考えていますが、実際農作業のために雇用されているのですか？

障害者の方は、今のところ、仕事というよりは訓練として野菜袋やバックのシールを貼りなどをしてもらっている。給金は歩合制で、実際に助かっている。



大塚さん

夫婦で仲良く営農するには、どんなコツがありますか？

四六時中一緒にいるので喧嘩も多いのですが、最後まで話し合う。お互いに「わかった、そうしよう…」となるまで話し合いをする。お婿さんの場合、男性にリードしてもらいたい女心を捨てて、リードした方がいい。その方が絶対うまくいく！

トマトの規格外のはね品を使って、個人でトマトケチャップを加工品として売り込みたいのですが…

忙しい時期に、加工用のトマトを保存できるのか？冷凍庫はあるのか？まず、ひとつひとつクリアできるか考えた方がいい。加工場については、自分で持ったら採算をとるのが難しい。

中国人を2人雇用していますが、どのように育成したら良いのですか？

うちでは中国人には、主に単純作業をやらせてもらっています。日本語を話せなくても大丈夫。体調が悪いとか込み入った話になる時は、電話で通訳をお願いしている。2人雇用するのであれば、1年ずつずらして入れると先輩が後輩を教えてくれる。



本谷さん



宮川さん



高木さん